

# 清掃現場体験



## 東葛病院、清掃現場体験（ワーカーズコープ東葛福祉事業所）に参加しました。

12月20日（金）に、東葛病院内における清掃現場体験に参加しました。

病床数は331床あり、標榜科目も19科の流山市内における中核病院として地域の医療に、私達市民である患者を中心に、医師、薬剤師、看護師、技術者、栄養士、事務など多くの職種、職員がかかわりながらチーム医療をおこなっていました。また24時間、365日救急医療を行い、急性期の病気から慢性期のリハビリテーション、小児から在宅での訪問診療まで、付属診療所と協力して様々な病気に関する私達市民を含めた患者が安心して掛かる事の出来る医療機関の印象を持ちました。

今回は清掃現場の職場体験でしたが、活動範囲は清掃以外にも院内設備、警備、電話交換、リネン、院内食堂と多岐にわたっておりました。

さて早速、職場体験ですが約30分の職場体験教育を受け、注意事項、手洗い、うがい、清掃服の確認、17ある清掃用具の点検を終え、いよいよ表舞台である病棟に移動しました。病棟に一步立ち入ってしまうと、患者様、外来の方、付添いの方から見れば、東葛病院の顔としての立場を意識させられ、自ずと緊張感がみなぎりました。

病院内では、ウイルス対策の観点から、清掃用具に赤、青、黄、白と色分けがなされ、清潔の度合いに応じて徹底した用具の使い分けが、身だしなみ、勤務態度、挨拶、体調管理、チームワーク等の清掃手順の管理がされていました。例えば、病室内における清掃手順についても、常に患者様、医療従事者を意識し、気の抜けない業務の連続なのだと、改めて感心させられました。

また、当然ですが病院内における、患者様の案内役を引受け、エレベーターの操作、病室までの道案内等、医療従事者の一躍を担っているのだという自覚が自然と芽生えました。

午後の1時から3時過ぎまでの、日常実施されている、通常の業務の半分程の清掃業務に関する職場体験でしたが、そこに従事されている従業員の方の表情が印象的で、医療従事者の責任の重さ、仕事に対する姿勢を改めて学ばせて頂いた職場体験の一日でした。



# 「じんけん」ぽん



(2014. 1/ NO.117)

## 2014年もよろしくおねがいいたします

〔発行〕 社会福祉法人 生活クラブ  
柏市地域生活支援センター あいネット  
〒277-0004 柏市柏下 65-1 ウェルネス柏内  
TEL04-7165-8707 FAX04-7165-8709  
HP: <http://ai-net.a.la9.jp/>  
e-mail: [ainet@kazenomura.jp](mailto:ainet@kazenomura.jp)

### 西成区あいらん地域を訪ねて

年末にはTVニュースの恒例のひとつとして、炊き出しの映像が報道されるあいらん地域の三角公園。訪れたこの日も寒風で震え上がるような日だった。この地区には安価で泊まれる宿や安価で借りられる住まいも多いのだが、路上で過ごす人も幾人も見かける。

強く印象に残ったのは、線路と平行に立てられている細く長いプレハブの建物。夜間緊急宿泊所として建てられたものだ。夕方になるとそこに泊まるためのチケットが配られ、朝になると出ていかねばならない。ここが必要な人はそれを毎日繰り返し泊まる。

中には2段ベッドが並び、正確な数字は不明だが500人を超える人が泊まれる施設で、建物と並んで外に簡易なシャワールームも細長く並んでいる。今は200人を超える人が利用しているという話だった。

この地域で活動している、社会福祉法人大阪自彊館、NPO法人「ホームドア」、釜ヶ崎支援機構の方々からお話を伺った。自彊館では「誰も制度の谷間には落とさない福祉」、大阪の「社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）」について、NPO法人「ホームドア」には釜ヶ崎のホームレスのおっちゃんを人生のホームから転落させたくないという大学在学中の女性から「ハブチャリ」と

「釜ヶ崎」事業について、釜ヶ崎支援機構では上記の見学やリサイクル事業などの説明を受けた。

どの活動でもそうだが、たとえば自転車のリサイクル事業もホームレス支援だからといって、その地域の事業と競合しないよう、共にこの地域で生きていくこと、地域で受け入れられてこそその事業と考えているとの説明があった。誰かを助けようという行為が誰かにとっては不利益になることもある。誰も排除しない（されない）ということこそそうたやすいことではない。

ホームドアでは「支援される立場から自転車問題を解決する担い手へと支援されるばかりの立場から抜け出す」、釜ヶ崎支援機構は「日本で最も多く野宿者と野宿に至るおそれのある人が集中する町で、野宿生活をしなくてもよい社会の形成を目指す」。関西弁は得だなあと思ってしまうが、特に気負った風や構えた話しぶりはない。気づいたことや考えたことをどうにか形にしたらこうなった、今度はどうしようと考え行動するといった感じが心地よい。

生活困窮の方々の支援では生活保護受給につなげるケースも多く、住まい、生活費、医療等が保障されることで生活の安定が得られる安心感は大きい。「生活保護を受けることで、その人が失うものもあるということに思いを至らせる必要がある」と

という自彊館の方の言葉、生活保護を受けてそれで終わりではないと日頃の支援を感じていることを端的に言っていた。かなりの駆け足ではあったが何とも重く噛みごたえのある体験となった。

柏市においてはあいらん地域のような状況は一見してあるとはいえない。しかしながら、ハウスレス、ホームレスの状況は少なくともある。量ではなく、状況は必ずどの地域にもあり、見えにくいだけと考えるべきではないか。現にあいネットに入る相談で生活困窮状態にある、またはなる可能性のケースはこの12月では新規相談の約1/4を占める。潜在的にはもっと多いと考えるべきであろう。予防的に支援をするためには、何についても言えることだが、早期発見・早期解決である。

相談者の困りことは表明したことだけであらうか。人は自分で解決しなければならぬと考えるために、困りごとすべてを最初から話すものではない。表明したことだけに対応し、「また何かあったら相談を」と伝えても、次が決まっていなければ再び相談「くる」ことは少ない。

『漠然とした、また何か、で帰してはいけない』はあいネットの業務マニュアルであることが徹底できているか、年頭にあたりもう一度心したい。

# ビッグ・ハート地域意見交換会

12月13日(金) 障害者就業・生活支援センタービッグ・ハート平成25年度第3回地域意見交流会に参加しました。

講義のテーマは「罪を犯した障害者・高齢者の支援」で、講師は千葉県地域定着支援センター所長の岸恵子さんでした。

講義は実際に定着支援センターで支援した、矯正施設退所者に対する地域定着支援の実情を、事例を交えながら説明がありました。

地域定着支援センターでかわった支援対象者は、教育・福祉・雇用から疎外されてきた人たちが多く、事件当時ほとんどの人が社会の中に所属や居場所・役割が無いことにより、再び罪を繰り返す、自力では生活をすることが困難になり、犯罪を繰り返す「累犯者」になっていく。

そして、実際に社会の中で仕事をもらえなかった者も、刑務所に行けば仕事があり、そこに喜びを見つけてしまっていて、刑務所が福祉施設の代替施設になっているという実情があるとのことでした。

また、司法と福祉の連携についても実際に裁判までの支援を丁寧の説明していただきました。

これまでのじんけんほんでも何度か触れてきた「生活困窮者自立促進支援法」ですが、昨年の12月6日の衆議院本会議で成立しました。

くおさらい

「生活困窮者自立促進支援法」

生活困窮者(経済的に苦しい方、身寄りがおらず、誰にも相談の出来ない方)に対して、生活保護に陥る前に支援をしていく、という法律。

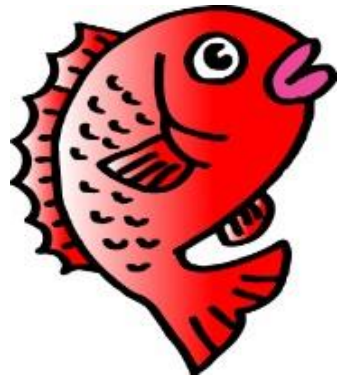
具体的には、相談支援として「自立相談支援事業」、就労支援として「就労準備支援事業」、「中間的就労」、家計相談として「家計相談支援事業」等があり、各自治体の実情に応じて事業を実施している(※自立相談支援事業は必須)。

H27年4月からの法の施行予定で、それに先駆けて全国68団体がモデル事業を実施。千葉県では、千葉市・船橋市・柏市・野田市・佐倉市・香取市で実施している。

最後に、助けを求めている人が福祉にどこで出会うか、裁判で刑が確定されれば支援が終わるのではなく、福祉側のかかわり続ける覚悟が必要であると、おっしゃられていました。

質疑応答では、実際に雇用を考えている企業からの、職場での注意点など積極的な質疑がありました。

当日、法テラス千葉の弁護士がご参加下さる予定でしたが、柏市内での相談が長引いており不参加となりました。ただ、その相談も、福祉関係事業所からの相談だったようで、司法と福祉が連携して支援をしている機会が増えてきているのかなと実感しました。

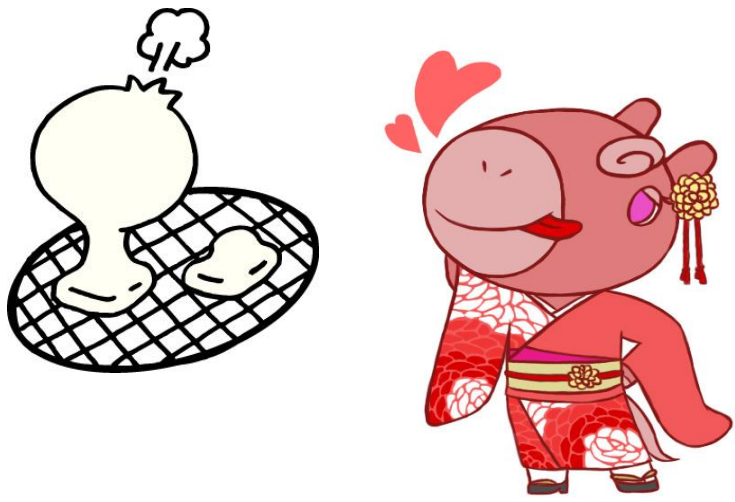


## お知らせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707 FAX:04-7165-8709)

講演名	日時	場所	費用	申込 問合せ先他
ふみだそう小さな一歩 ～安心して暮らせる地域移行・地域定着～ H25年度第6回 地域移行支援(退院促進)セミナー	平成26年 2月15日 (土) 13:15～	千葉市民会館 小ホール・会議室	無料	千葉県精神保健福祉協議会 TEL 080-7000-2093 (火、水、木)

生活困窮者の方は様々な問題を複合的に抱えている事が多いです。住まいの問題、病気の問題、お金の問題、仕事の問題、家族の問題等は、あいネットが単独で問題を解決する事が難しい事が多々あります。地域にある様々な機関と連携をしながら、問題の解決を図っていききたいと思えます。



# 生活困窮者自立促進支援法